

事業報告書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

公益財団法人 和敬塾

1. 事業の概要

本年度におきましても、建塾の趣意に則り、その目的を達成するために「公益財団法人和敬塾 定款」第4条に基づき、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会情勢の不安定のもとにありながらもこれまで培って来た良き和敬塾の精神文化を継承しつつ、新しい時代に受け入れられる「共同生活を通じた人間形成の場」を作り、他の大学生寮や宿舎との棲み分けを進めることにより、広く社会に和敬塾の存在を知らしめ、多くの塾生を迎え入れるとともに、前途有為な青年を輩出すべく、役職員一同、下記の事業に取り組みました。

次に、実施しました事業の活動の概況等を項目別にご報告致します。

(1) 学生寮並びに研修施設・体育施設・生活施設の運営（1号事業）

①共同生活の場である各施設的良好なる状態維持の為の改修工事等

- * 東寮の地震後ひび割れ補修工事を行った。
- * 学生ホールの浴槽の目地補修工事を行った。
- * 空調設備、電気設備、エレベーター、給排水ポンプ、ボイラー、消防設備、特殊建物等の各種保守点検を行なった。
- * 空調機等の修理並びに取り換え工事を行なった。
- * 樹木の剪定及び伐採を行なった。

②現有施設の保守並びに有効利用

- * ①項の各種工事並びに定期点検を行うと共に、主として和敬塾本館を収益事業として外部への貸出を行った。

③各寮の特徴、特色を活かす為の諸施設の活用

- * 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各寮のイベント等は感染防止対策を十分に実施しながら行った。

(2) 入寮学生の共同生活による修養・研鑽への援助（2号事業）

①入塾式、塾祭、体育祭、予餞会、シンポジウム、日本伝統歳事の実施

- * 入塾式、塾祭、各寮対抗競技の体育祭、予餞会の四大大行事については、新型コロナウイルス感染症の対策をしながら対面形式で実施した。
- * 入塾式に関しては、4月10日に塾生と職員のみにて対面形式で開催した。
- * 塾祭は、午前中の式典のみの開催とし、形式は対面形式とした。
- * 9月の体育祭は中止とした。

ただし、体育祭の代替として9月上旬に全寮スポーツ大会（漢の夏祭り）を開催し

た。

* 予餞会に関しては、12月11日に対面形式にてほぼ通例に近い形で開催した。

②新入塾生に対する和敬塾設立理念並びに生活規範のオリエンテーション

* 生活規範への理解として、3月31日にオリエンテーションを行った。

③各寮に於ける教養活動・イベント並びに既存の教養講座の開催

* 新型コロナウイルス感染症防止のため、一時開催を中止したが、講師の先生方と参加塾生の話し合いのもと、新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施することができる講座から再開した。

④各寮塾生委員会若しくは班が主催する行事の開催

* 新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、内容を吟味し開催した。

⑤一年生面談及び年末一・二・三年生継続面接の実施と助言並びにその発展的活用

* 6月～7月にかけての新入塾生面談、12月～1月にかけての一年生、二年生、三年生との面談は感染対策の上、面談時間を短めにして実施した。

⑥寮長及び副寮長による日常生活を通じた寮生の人間形成

* 各寮委員会の会議、各寮総会への参加並びに日常生活での様々な場面をとらえて行なった。

⑦「和敬塾だより」の発行による塾生父兄並びに塾友との共同体化

* メールマガジンの発行として行った。

⑧塾友、外部学生との交流活動並びに研修会の開催による寮生の視野の醸成と拡大

* 毎年7月に開催される中華民国大学生訪日研修団と当塾塾生との交流は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

⑨塾友との各種情報交換並びに講演会等の共同企画・開催による寮生の卒塾後の準備

* 和敬塾卒塾生のOB会である塾友会との連携を深めるため緊密な情報交換を行うとともに、講演会を含む「ホームカミング大会」等への協力を行なった。

⑩日本人学生と留学生との交流による相互理解の促進と国際性の醸成

* 塾主催行事並びに各寮委員会行事、各寮の班行事への留学生の参加を通して、相互理解を深めた。

⑪所轄官庁の協力による防災意識並びに安全管理の啓蒙

* 必要に応じて大塚警察署並びに小石川消防署、小石川保健所等から助言を受け、防災体制の確立に努めた。

* 防災訓練を6月4日に、新型コロナウイルス感染症対策のうえ、塾生・職員を交えて開催した。

* 防災倉庫、備蓄食糧庫、災害時用諸機材の点検などを定期的に行なっている。

* 新型コロナウイルス感染症への対応については、佐藤専務理事を本部長とする「和敬塾コロナ対策本部」が中心となり、文京保健所のご指導の下、各部門および寮生の協力を得ながら、感染防止や感染者が発生した場合の迅速な対応（隔離、塾外移動）な

どを行っている。

⑫地域社会との交流を目指した近隣文化活動等の実施

* 塾生の地域社会に対する奉仕の実践の場として、地域の美化活動等を行なった。

⑬「共同体研究プロジェクト」を実施し、発達心理学の専門家である和敬塾 OB の協力を得て、和敬塾共同体を学術的に探究するとともに、塾生の日常生活の充実をはかる。

* 発達心理学の専門家である和敬塾 OB の協力のもと、「共同体研究プロジェクト」にて和敬塾共同体を学術的に探究するとともに、塾生の日常生活の充実をはかるため、前年度のレポートを精査し、そこにみられる塾生活に直結する問題点・課題を寮生指導に導入した。

⑭「寮計画プロジェクト」を実施し、班活動を中心に、塾生個人、ならびに班、寮、それぞれの共同体の成長をはかる。

* 新型コロナウイルス感染症の為、イベント活動等を自粛せざるを得ず、逐次、機会を捉えて行った。

⑮「海外戦略プロジェクト」を実施し、留学生と邦人塾生との交流を深め、共同生活の質を高め、双方の成長をはかる。

* 新型コロナウイルス感染症により留学生の入寮が減少した為、逐次、機会を捉えて行った。

⑯広尾学園小石川中学・高等学校、学校法人創志学園、栄東中学・高等学校との包括的連携協定を基に、生徒並びに学生と寮生との教育交流を実施し、人材育成に寄与させる。

* 和敬塾諸施設の活用等、逐次協議のうえ進めた。

(3) 講演会・講座・討論会等の開催（3号事業）

①入塾式、塾祭、予餞会での記念講演

* 入塾式に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、出席者は、講師、塾生、職員のみ限定したが、通年のように対面形式で記念講演を開催した。

* 塾祭に関しては、新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで対面形式にて午前中の部のみ開催した。

* 予餞会に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大のため、来賓らのご参加は控えていただいたが、対面形式にて記念講演を開催した。

②役職員並びに講師と塾生との懇談会並びに懇親会

* 新型コロナウイルス感染症拡大のため、新・旧塾生委員会交代会等を中止とした。

③各寮塾生主催による講演会、シンポジウム等の開催

* 新型コロナウイルス感染症拡大のため各寮塾生主催による講演会、シンポジウム等は最小限とした。

④別冊「和敬」に代わり、ホームページ上で講演会の公開・発信

* 現在、編集作業を行っている。

⑤ 在塾生の為の企業説明会並びにマナー講習会

* 新型コロナウイルス感染症拡大のため、企業説明会並びにマナー講習会を中止とした。

⑥ 班会議並びに寮内討論会の開催

* 各寮において、塾生委員会を開催し、班会議も随時行った。

(4) 奨学金の貸与（4号事業）

① 計18名に貸与した。

(5) 東京都指定有形文化財「旧細川侯爵邸」の保存並びに活用（5号事業）

① 本館文化財指定に基づく一般公開

* 概ね各月2回程度を目処とした定期公開等の自主公開並びに東京都主催による文化財ウィークにおいて一般公開を行なった。今年も新型コロナウイルス感染症の影響があったものの応募人数が昨年度より増加し、参加者は約340名であった。

② 塾生のための文化事業の場として活用

* 中華民国大学生訪日研修団と塾生との交流の場を7月上旬に行う予定だったが新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。

* 茶道部の会場として活用した。

* マナー講習会に関しては、新型コロナウイルス感染症対策のため中止とした。

(6) その他、第4条の目的を達成するために必要な事業（6号事業）

① 各寮ホームページ、ブログ等による継続的情報発信による募集活動

* 情報発信力を高めるため、既存のホームページのほか、和敬塾公式 FaceBook、インスタグラム、twitter にて、随時イベントや、塾生の日々の生活を紹介した。

* 早稲田大学合格者に配布される冊子「学生寮のご案内」に大学提携寮として和敬塾の案内が掲載された。その他、在寮が二年間である早稲田大学直営寮の退寮者に和敬塾の案内を配布、また、留学生短期プログラムの宿舎として和敬塾を紹介等、早稲田大学との関係が深まった。

* 「学生会館ほっとステーション」「学生寮ガイド」等の学生寮情報サイトに掲載した。

* 東大生協パンフレットに広告を掲載した。

* 不動産情報サイト「e-部屋探し」「学校から探す賃貸物件」に登録した。

* 東大生協主催の「住まい相談会」と明大サポート主催の「お部屋探し相談会」に出展した。

② 塾生出身校、塾生父兄並びに卒塾生との関係強化による募集活動

* 塾生及び塾友に同行してもらい塾生出身校を訪問し、進路指導の先生等に和敬塾の紹介と入塾案内を行った。

* 塾友会支部との交流を深め、募集活動の支援を得た。

* 各寮の職員が塾生の保護者と関係性を深め、その結果、保護者による新入塾生の紹介が増えた。

③「塾生募集プロジェクト」を実施し、包括的連携協定を締結した学校を初め、共同生活を通じた人間形成を実施している和敬塾の姿を受験生や保護者に知らせ、募集活動につなげる。

* 創志学園グループ・環太平洋大学(岡山)が首都圏での研修のため上京した際、塾生と懇談会を開催した。

④「パブリシティプロジェクト」を実施し、和敬塾の60数年に及ぶ成果を学術的にまとめた「共同体研究プロジェクト」の内容を、ご父母、和敬塾OB、教育関係者、マスコミ等にわかりやすい形で伝え、和敬塾の理解の輪を広げる。

* 塾生研究会を立ち上げ、情報発信のための基盤づくりに努めた。

⑤新規収益事業の開発

* 種々の新規プロジェクトと共に鋭意研究中である。

(7)講演会、シンポジウム、セミナー、文化活動

年月日			
令和4年 4.10	入塾式	講演	演題：「自己紹介させていただきます」 講師：駐日ジョージア特命全権大使・塾友 ティムラス レジャバ
令和4年 5.15	塾祭	講演	演題：「和敬塾と文京区の連携に期待すること」 講師：文京区長 成澤廣修
令和4年 12.11	予餞会	講演	演題：「グローバル化時代に巣立つ塾生に語る」 講師：リュックス・アドバタイザー・ジャパン株式会社代表取締役 塾友 遣田重彦

(8) 教養講座

一流講師の直接指導を受けて、合宿や会食も取り入れ、お互いに切磋琢磨をはかっている。実施した講座と講師は下記の通り。

ただし新型コロナウイルス感染症防止のため、講師、参加塾生の双方打ち合わせのうえ開催可能とした場合のみの開催となっている。

(講 座 名)	(講 師)	(講 座 名)	(講 師)
茶 道	江川 宗京	書 道	岡本 光平
空 手 道	岡 精近	居 合 道	山崎 誉
中国古典輪読会	信夫 息游	絵 画 研 究 会	上葛 明広
直心影流法定	〃	坐 禅	未定 ※高石先生引退
剣 道	塚本 博之	グレートブックス研究会	犬塚 潤一郎
柔 道	柏崎 克彦	英 会 話 教 室	Malcolm MacNeil

(9) 入塾選考

入塾選考は、入塾願書による選考の後、塾設立の趣旨、塾生活の内容を説明し、理解させた上で面接または書類選考を行い、入塾を決定している。なお、令和4年度の新入塾生は日本人新入生55名（春：新一年50名、新二年2名、新四年2名、秋：四年1名／院生は春、秋とも0名）、日本人再入塾1名、留学生87名の計143名であった。

尚、令和3年度の新入塾生は日本人新入生75名（春：新一年62名、新二年3名、新三年3名、新四年2名、院生3名 秋：一年1名、二年1名）、日本人再入塾2名、留学生5名の計82名であった。

(10) 留学生に関して

令和4年度は、入国制限緩和の影響で、103名の留学生が在籍し、日本人塾生との共同生活並びに行事や教養講座の参加・活動を通して、日本文化への理解を深めている。

尚、令和3年度は25名の留学生が在籍した（1～4ヶ月程度の短期生も含む）。

大学別塾生数一覧表

No	大 学	一年生	二年生	三年生	四年生	OB・大学院等	留学生	合 計
1	早稲田大学	19	22	23	23	8	64	159
2	上智大学	2	2	4	0	0	21	30
3	東京大学	8	6	6	1	5	1	27
4	学習院大学	0	1	0	1	0	12	14
5	明治大学	2	3	4	3	0	0	12
6	日本大学	1	2	1	4	3	0	11
7	慶應義塾大学	0	2	1	2	2	1	8
8	中央大学	1	2	3	0	0	0	6
9	東京理科大学	0	0	0	4	1	0	5
10	東洋大学	1	1	3	0	0	0	5
11	法政大学	2	0	1	1	0	1	5
12	立教大学	2	1	1	0	0	0	4
13	青山学院大学	2	0	1	0	0	0	3
14	駒澤大学	2	0	1	0	0	0	3
15	國學院大学	0	0	1	1	0	0	2
16	成蹊大学	1	0	0	1	0	0	2
17	専修大学	1	0	1	0	0	0	2
18	拓殖大学	1	1	0	0	0	0	2
19	東京歯科大学	1	0	1	0	0	0	2
20	東京農業大学	0	1	0	1	0	0	2
21	立正大学	0	1	0	1	0	0	2
22	順天堂大学	0	0	0	0	0	1	1
23	東京都市大学	0	1	0	0	0	0	1
24	国士舘大学	0	0	0	1	0	0	1
25	芝浦工業大学	0	0	0	1	0	0	1
26	城西国際大学	0	0	1	0	0	0	1
27	電気通信大学	1	0	0	0	0	0	1
28	東京医科大学	0	0	0	1	0	0	1
29	東京外国語大学	0	0	1	0	0	0	1
30	東京学芸大学	0	0	1	0	0	0	1
31	東京工業大学	1	0	0	0	0	0	1
32	東京工芸大学	0	1	0	0	0	0	1
33	東京慈恵会医科大学	0	1	0	0	0	0	1
34	東京農工大学	0	0	0	0	1	0	1
35	武蔵野大学	1	0	0	0	0	0	1
36	明治学院大学	0	1	0	0	0	0	1
37	横浜国立大学	0	0	0	1	0	0	1
38	横浜市立大学	1	0	0	0	0	0	1
39	イトンカレッジ	0	0	0	0	0	1	1
40	amps 国際アニメ学院	0	0	0	0	0	1	1
	合 計	50	49	55	48	20	103	325
	昨 年 度	62	60	50	58	11	21	262

2. 処務の概要

役員等に関する事項

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	担任職務	常勤・非常勤
理事	前川 正	H30. 6. 27	理事長	常勤
〃	佐藤 一義	H25. 11. 1	専務理事	〃
〃	前川 正雄	H24. 2. 1		非常勤
〃	藁谷 友紀	〃		〃
〃	柳川 邦衛	H27. 6. 23		〃
〃	跡見 裕	H30. 6. 27		〃
〃	平沢 泉	〃		〃
〃	田島 信元	R02. 6. 27		〃
〃	嘉藤 祐樹	R04. 6. 27		常勤
〃	佐々木 良夫	〃		〃
〃	三嶋 直純	〃		〃
監事	笠原 将敏	H24. 2. 1		非常勤
〃	山内 豊	〃		〃
評議員	河合 素直	H24. 2. 1		非常勤
〃	細越 峻	〃		〃
〃	宮野 忠夫	〃		〃
〃	渡邊 重範	〃		〃
〃	石光 豊	H27. 6. 23		〃
〃	太田 朝生	〃		〃
〃	福原 毅	〃		〃
〃	栃木 弘義	R03. 6. 4		〃
〃	岩木 勅一	〃		〃

3. 役員会等に関する事項

(1)理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 04. 6. 10	1.公益財団法人和敬塾令和 3 年度事業報告の承認に関する件	原案どおり可決
	2.公益財団法人和敬塾令和 3 年度決算報告の承認に関する件	原案どおり可決
	3.任期満了に伴う次期理事候補者の承認に関する件	原案どおり可決
	4.新任理事候補者選任に関する件	原案どおり可決
	5.代表理事(理事長)の辞任に伴う役付理事(理事長)選定の件	原案どおり可決
	6.定時評議員会招集に関する件	原案どおり可決
	7.職務実行状況報告	報告事項
令和 04. 9. 30	塾費改定の件	原案どおり可決
令和 05. 3. 25	1.公益財団法人和敬塾令和 5 年度事業計画の承認に関する件	原案どおり可決
	2.公益財団法人和敬塾令和 5 年度収支予算の承認に関する件	原案どおり可決
	3.令和 5 年度資金調達及び設備投資の見込みについての承認に関する件	原案どおり可決
	4.長期修繕計画(令和 5 年度版)の承認に関する件	原案どおり可決
	5.資産取得計画(令和 5 年度版)の承認に関する件	原案どおり可決
	6.任期満了に伴う次期理事候補者並びに監事候補者、評議員候補者の推薦に関する件	原案どおり可決
	7.職務執行状況報告	報告事項

(2)評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 04. 6. 27	1.公益財団法人和敬塾令和 3 年度事業報告に関する件	報告事項
	2.公益財団法人和敬塾令和 3 年度決算報告の承認に関する件	原案どおり可決
	3.理事選任に関する件	原案どおり可決
	4.定款一部変更に関する件	原案どおり可決
	5.職務実行状況報告	報告事項

4. 附属明細書

令和 4 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。